

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公表番号】特表2009-544010(P2009-544010A)

【公表日】平成21年12月10日(2009.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2009-049

【出願番号】特願2009-519583(P2009-519583)

【国際特許分類】

G 01 K 7/36 (2006.01)

G 01 K 1/02 (2006.01)

G 01 N 27/00 (2006.01)

【F I】

G 01 K 7/36 A

G 01 K 1/02 E

G 01 N 27/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月25日(2010.6.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

センサであって、

複数の導電ループを含み、インダクタンスと関連するインダクタと、

1つ以上の対の前記ループを機械的に結合させる1つ以上のヒンジと、

センサ材料であって、前記センサ材料の寸法変化によって目的のパラメータに応答するように構成され、前記センサ材料の寸法変化が、前記ループのうち少なくとも第2のループに対する前記ループのうち少なくとも第1のループの位置の変化を生じさせ、前記インダクタの前記インダクタンスの変化を生成するように、前記ループに対して配向されるセンサ材料と、を含む、センサ。

【請求項2】

センサであって、

各導電ループが平面基材上に配置される複数の導電ループを含むインダクタと、

1つ以上のヒンジの操作が前記ループの角度配向を変化させて前記インダクタのインダクタンスの対応する変化を生じせるように、前記導電ループの少なくとも1対を機械的に結合させる1つ以上のヒンジと、を含む、センサ。

【請求項3】

誘導センサを製造する方法であって、

少なくとも第1の部分と、第2の部分と、第1の部分と第2の部分とを連結する可撓性ヒンジ部分とを有する平面基材の第1の部分上に導電材料の第1のループを形成する工程と、

前記基材の第2の部分上に、前記第1のループに電気的に結合される、導電材料の第2のループを形成する工程と、

センサ材料の寸法変化によって目的のパラメータに応答するように構成されるセンサ材料を、前記基材に対して配向する工程と、

前記センサ材料が前記第1のループと前記第2のループとの間に配置され、前記第1及

び第2のループがインダクタのコイルを形成するように、前記基材を前記ヒンジ部分のところで折り畳む工程と、

前記センサ材料における前記寸法変化に応答して前記第2のループに対する前記第1のループの位置を変化させる工程と、を含む、方法。